

平成22年2月6日 第30回札幌市病院学会

## 精神科における看護師全員参加型 事例研修の取り組み

～3年間の変化に焦点を当てて～

医療法人社団 五稜会病院

○若松 るみ、三好 忍、飯沼 紀子、  
小杉 由美子、鈴木 由美子、八木 こずえ

## 五稜会病院のご紹介

- ・思春期ストレスケア病棟
- ・急性期治療病棟
- ・療養病棟  
(193床の精神科病院)
- ・デイケア  
(復職支援)  
(思春期青年期デイケア)



## 取り組みのきっかけ

当院の看護体制：プライマリーとチームナーシング  
受け持ちNsによる、患者参加型看護計画の実践

患者一人ひとりに、じっくりとケアを深める機会  
を持ってない現状(充実感、成長感がない)

看護経験の中の確かな手ごたえを得て  
自信をつけていくには？成長を助けるには？

**全員参加型的事例研修に取り組んでみよう！**

## 1、初年度の経過

- 目標：全員が看護経験を言語化することができる
- 方法：ひとり1事例・手引きや様式を作成  
提出期限を設定

61事例が提出された  
テーマやテーマ選定理由のない事例もみられた  
完成度の高いものとそうでないものの差が大きい

初めての取り組みに対する不安感  
抵抗感や戸惑いの訴えが多かった

## 2年目の経過(更なる試み)

- 1、事例様式の変更(成長点の記入欄など)  
目的 → **書きやすさ・成長の自覚しやすさ**
- 2、ステップ選択制の導入(目標レベル1～4まで)  
目的 → **レベルの自己設定によるストレス減少**
- 3、院外講師による事例のまとめ方研修実施  
目的 → **知識獲得による不安の軽減**
- 4、「聞きたいランキング」による院内発表会  
目的 → **関心を高める・他者評価による視点**

## 自己選択式のステップ(自己目標)

- ステップ1: 特定の事例について、自分の言葉で事例の特徴と実践内容の文章化ができる  
(目安: 新人～3年未満)
- ステップ2: 目的をもって特定の事例を選択し、目的に沿った事例の振り返りができる(目安: 3年以上)
- ステップ3: 目的をもって特定の事例を選択し、**今後のケアに活かせる方法や方針など、実践的知識を**明らかにできる  
(目安: 3年以上～意欲のあるNs/リーダー層)
- ステップ4: ステップ③に加え、チームの成長を促進する**リーダーとしての自己課題**を明確にできる  
(リーダー層)

### 2年目の結果

テーマ設定が明確化。個人に合ったステップを選択。  
「聞きたいランキング」3位までの発表は大好評。

#### 感想カード例

- ★個性に合わせた、丁寧な関わりが素晴らしい！
- ★他職種でも解りやすく、看護の視点がわかった！
- ★感情労働の辛さを代弁してくれて、癒された！

#### 発表者の感想

聞いてもらえてよかった。感想カードは宝物

### 3年目の経過(更なる試み)

#### 1、事例様式・ステップ選択制は継続

目的 → 書きやすさ・成長の自覚しやすさが確立

#### 2、事例集の作成を行う。

目的 → 他の事例を読みたい希望が高い

### 3年目の結果

テーマ設定が明確化。不安や抵抗感の意見が減少  
早期からゆとりを持って作業開始するNsが増えた

#### 事例後のアンケート結果

- ★自己の成長感を実感し、自信を得る体験になった
- ★自己課題や患者ニーズを明確にでき、整理できた
- ★文献で学習を深めケアを裏づけする力がついた

#### 教育委員の意見・感想

他の事例に対する関心が高まっている  
身近な事例を通して疾患や看護の理解を深めたい意欲がある

### 結論

- 1、看護経験を客観的に振り返ることで、Ns自身が気づきを深め、成長感や自信を得る機会となってきた
- 2、他Nsの体験への関心や学習意欲が高まり、相互理解を深め、チーム連携を推進する契機となっている
- 3、全員参加型の取り組みは一体感を生み出し、抵抗感を克服し、研修効果を実感できるものとして成長してきた
- 4、事例後の院内発表や事例集作成は関心を喚起しお互いに学び合える職場風土の育成になっている

今後もスタッフの声を反映した工夫を続け  
看護の質とNs満足度も高める研修を展開したい